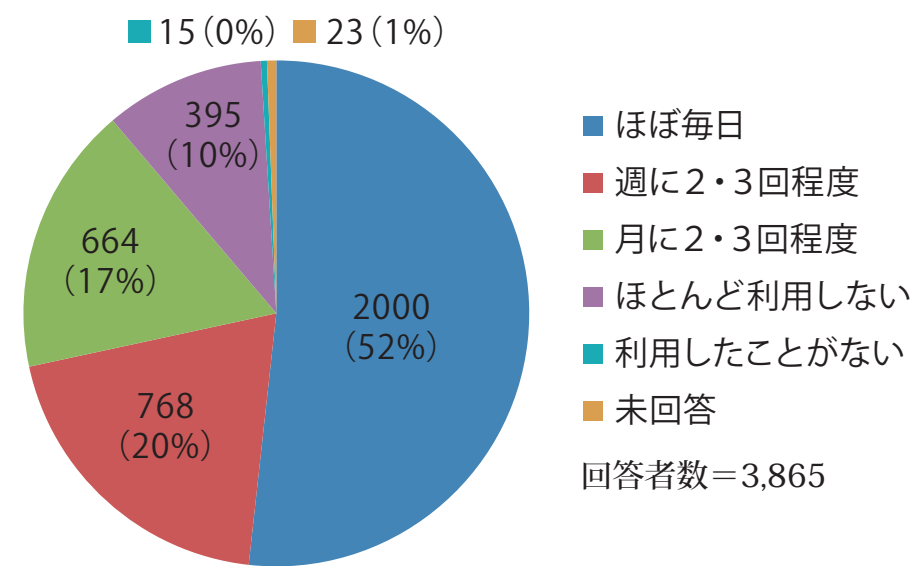


アンケート結果のご報告

回答数：3,865回答（ハガキアンケート：3,141回答、WEBアンケート：724回答）

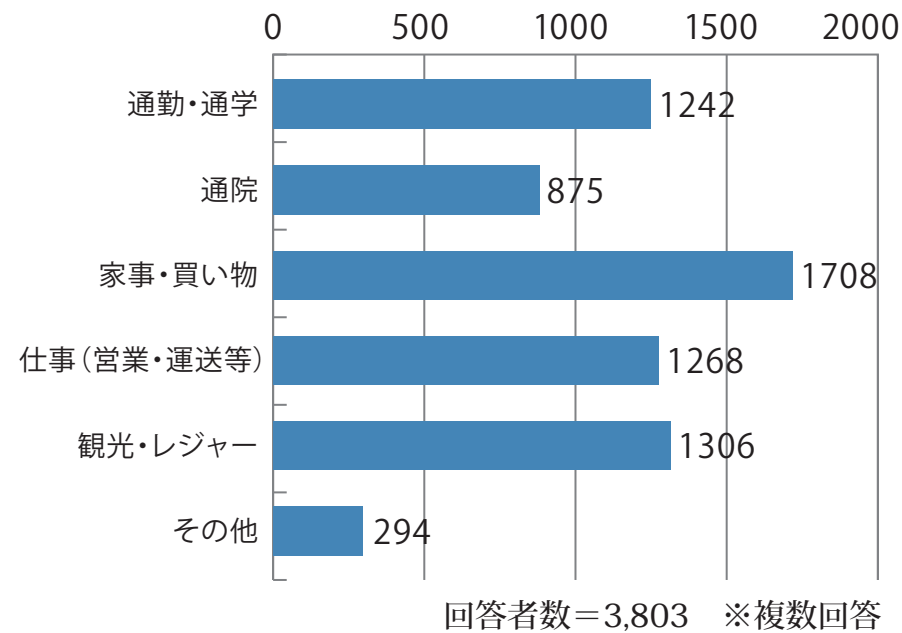
質問 1 国道7号の利用頻度

国道7号をどれくらいの頻度で利用しますか？



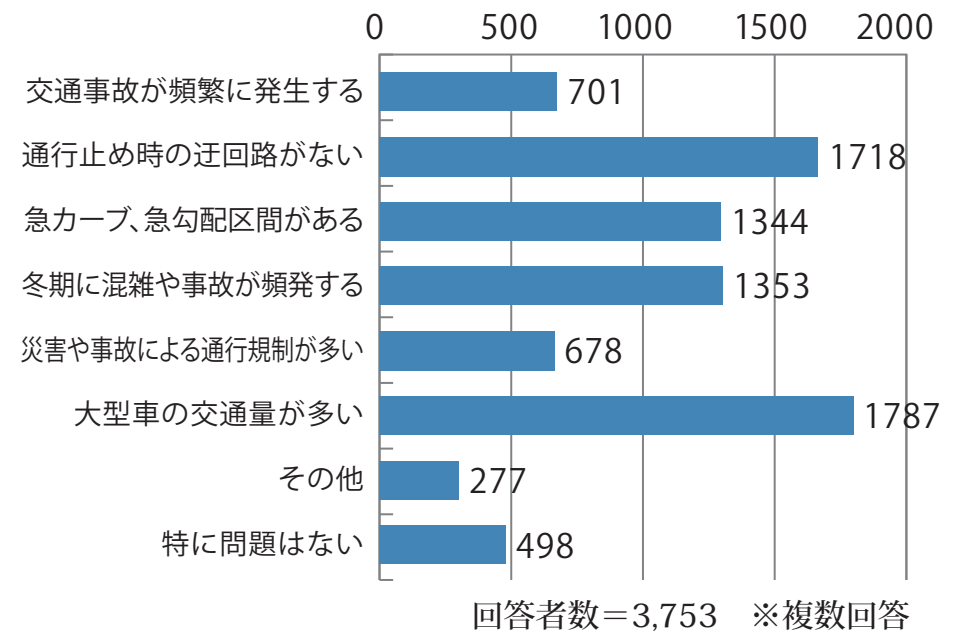
質問 2 主な利用目的

国道7号の主な利用目的は何ですか？



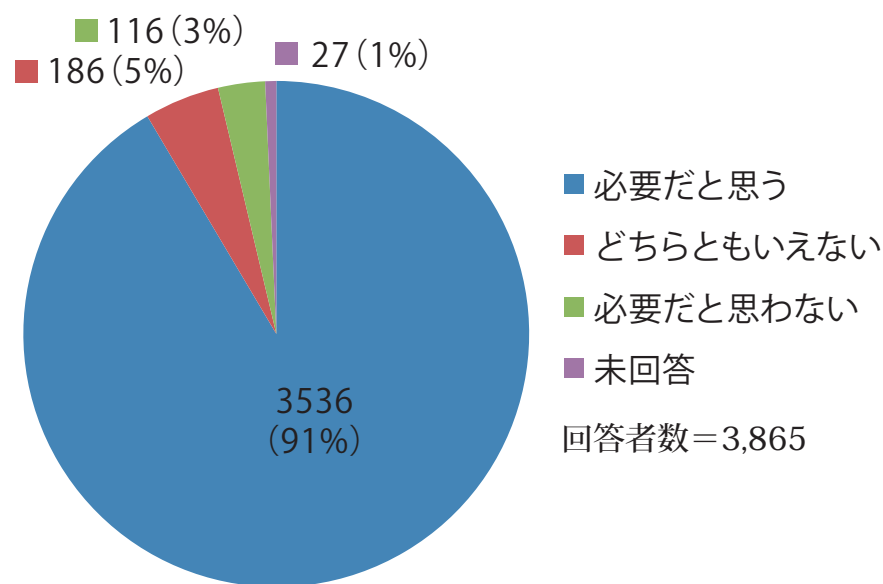
質問 3 国道7号の問題点

国道7号で、困った事や問題点はありますか？



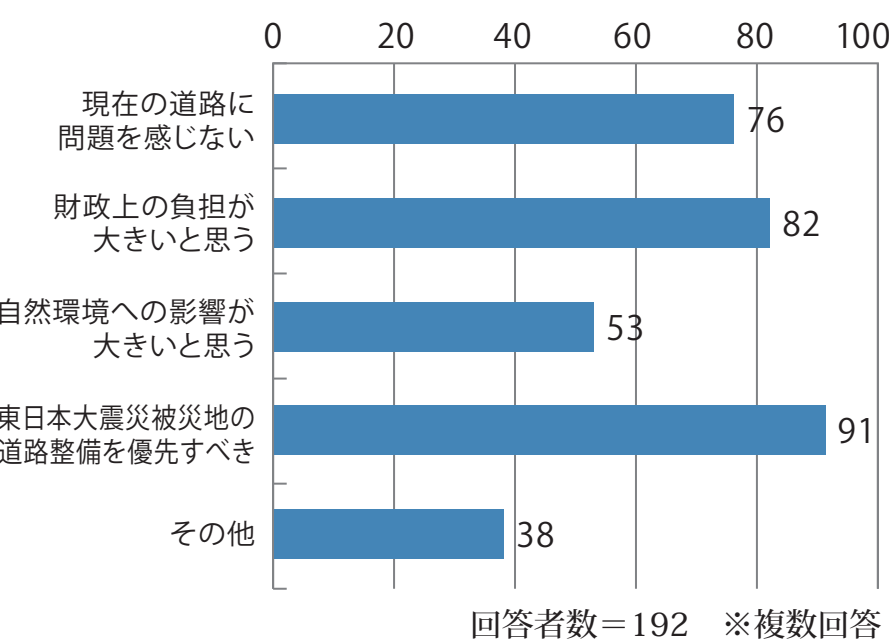
質問 4 高速道路整備の必要性

朝日まほろばIC～温海IC(仮称)間に高速道路整備は必要だと思いますか？



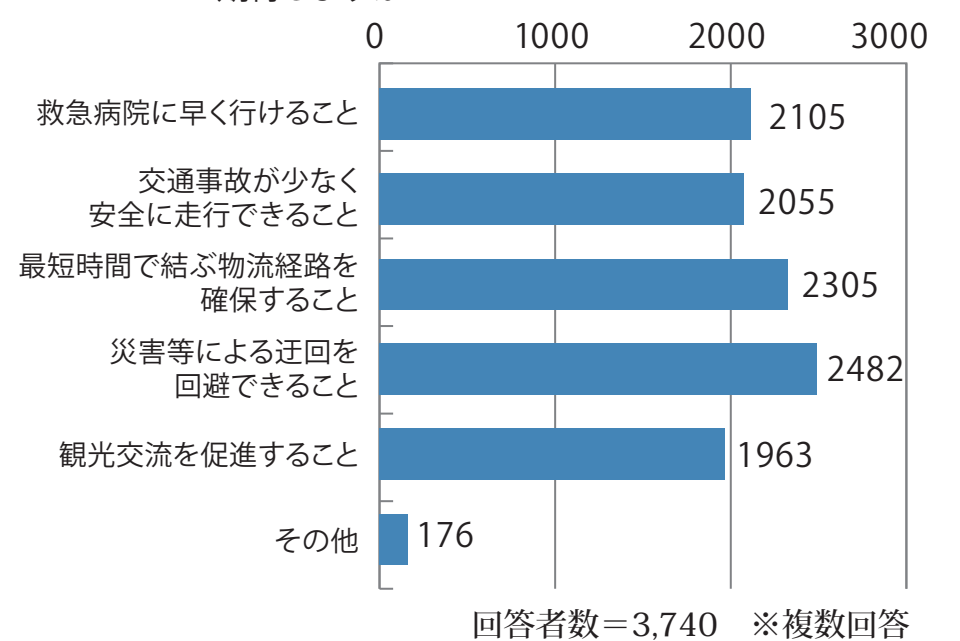
質問 5 必要と思わない理由

必要と思わない理由は何ですか？



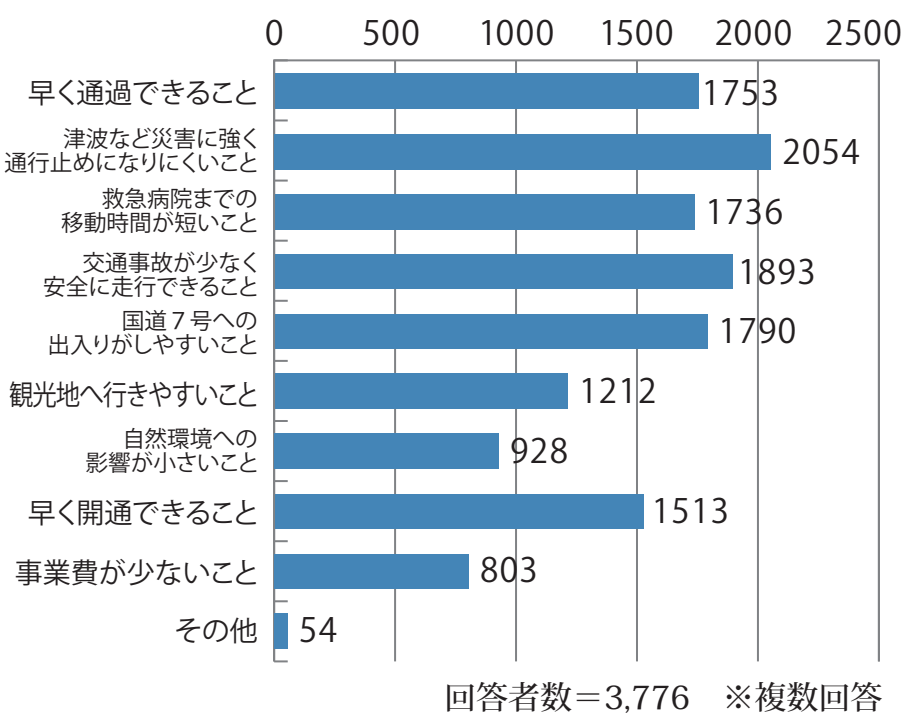
質問 6 高速道路に期待する役割

必要と考える高速道路には、どんな役割を期待しますか？



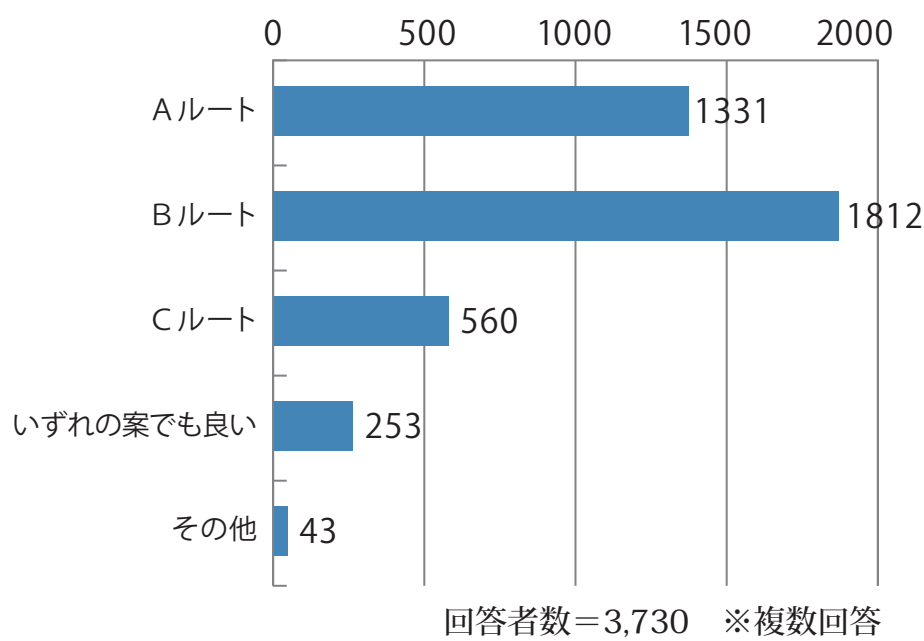
質問 7 ルートを選定するときの基準

ルートを選定するとき何が重要だと思いますか？



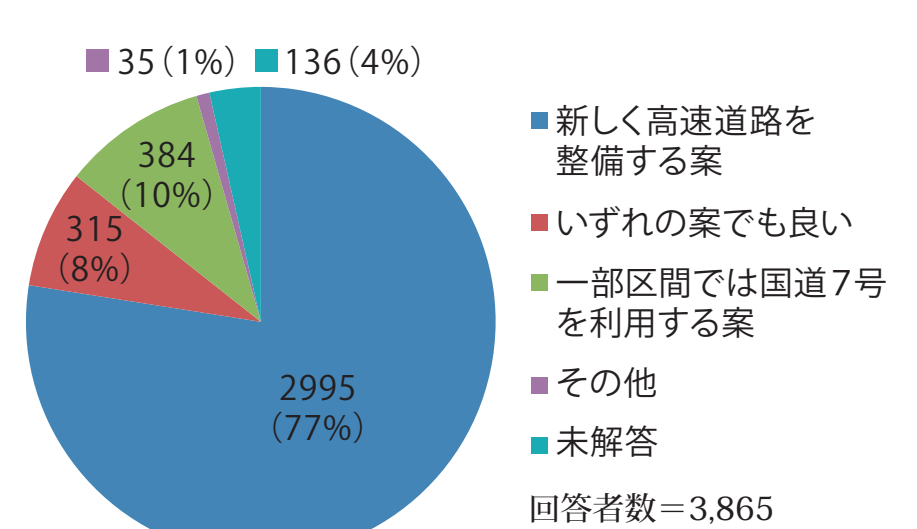
質問 8 望ましいルート帯

7の回答をふまえ、A～Cのうち望ましい案はどれですか？



質問 9 現道活用の意向

国道7号を利用する案も考えられますが望ましい案はどれですか？



質問 10 その他

その他ご意見がありましたらお聞かせ下さい。

- ・アンケートを参考にして、できるだけ早くルートを決定し、着工して下さい。
- ・ICを多く作ってもらいたい。
- ・SAを作って頂きたい。無理な場合は、ICに隣接して「道の駅」を作って欲しい。
- ・追い越し区間を設けていただきたい。
- ・対面通行では不安なので、供用区間も含め2車線（片側）を望みます。
- ・全線ルートの場合、国道7号線の除雪の回数が減少の可能性があります。そこが一番心配です。
- ・高速道路に接続する連絡道路として国道345号を改良してほしい。 など

<トピックス> 高速道路の「新たな整備の考え方」

国土交通省では、我が国における高速道路のあり方について、有識者委員会を設置して検討しており、平成23年12月9日に中間とりまとめがなされました。

その中で、東日本大震災をふまえ、以下の「新たな整備の考え方」を導入した早期ネットワーク化の必要性が示されています。

- ① 走行性の高い国道の活用や完成2車線の採用（追い越し付加車線や災害などを考慮した幅員の確保）
- ② 簡易な形式のICを数多く設置するなど、利便性の向上
- ③ 避難場所としての機能など、防災機能の付加

（H23.12.9高速道路のあり方検討有識者委員会「今後の高速道路のあり方中間とりまとめ」より）

アンケート結果の詳細といただいた全ての自由意見は、新潟国道事務所のホームページに掲載しております。

事務所のホームページは『にいく』で検索

にいく 検索

ご意見がございましたら、以下の方法でご意見をお寄せ下さい。
※年末年始の郵便事情を勘案した方法であり、ご理解下さいませお願いいたします。

【 投函ボックスに投函 】

投函ボックスは、以下の箇所に設置しています。
鶴岡市役所（本所、温海庁舎） 村上市役所（本庁、荒川支所、神林支所、朝日支所、山北支所）
道の駅「あつみ」「神林穂波の里」「朝日まほろば」「笹川流れ」

【 F A X にて送信 】

新潟国道事務所（FAX番号 025-246-7763）に送信して下さい。

【 インターネットから回答 】

酒田河川国道事務所・新潟国道事務所ホームページのバナーから回答ページにお進み下さい。
URL：http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/asahiatsumi.html

【 電子メールにて送信 】

新潟国道事務所のメールアドレス「niikoku@mlit.go.jp」にご意見を送信して下さい。

所定の回答用紙は特にありませんが、「年齢」や「お住まいの地域」を明記して、ご意見をお寄せ下さい。